

あなたと多良間村議会をつなぐ



村議会だより

CONTENTS

6月定例会

- P.2 一般会計補正、監査委員の選任、村議会 水納島を管内視察
- P.3-7 一般質問(6月10日に5名が登壇)
- P.8 管内視察報告、編集後記

村公式HPでも
読めます



令和元年度一般会計歳入歳出予算

可決

令和元年度一般会計歳入歳出予算		主な使い道
6月定例会 予算補正	27億6,688万円 (2,593万円減額)	新規で地域振興拠点施設(食事・土産品)の外構工事と太陽光発電関連工事や、空港内空調工事が行われる。

監査委員の選任について

- 住 所：多良間村内
- 氏 名：本村 恵和
- 年 齢：70歳

同意

村民の税金が無駄遣いされていないか、役場それぞれの事業が所期の目的を達成しているか、効果をあげているかを監査しております。



監査の様子

村議会 水納島を管内視察

6月21日(金)、村議会は活動の一環として水納島を管内視察した。水納島に津波タワーが完成してから初めての視察で、津波施設の状況を確認するとともに、今後の議会活動に生かしていくため、島内の状況をくまなく調査した。



津波タワーについては、良好な状態であると確認できた。ただ、食料の備蓄状況、災害時の運用については確認していない。



ヘリポートの状況は風向を示す機器がややこう着しており正確な風向を示していない。緊急時のヘリの運航に支障が出ないか懸念される。



山羊による食害状況は、海岸線を含めてひどい状況にある。モンパの木はほぼ全て食べつくされ、枯死したりして島の景観はもとより、防風、防砂、防潮の面から「家畜の放し飼い取り締まり条例」を適用すべきではないか検討が必要である。



海岸線の状況はモンパの木が枯死し、以前の素晴らしい景観が喪失している。さらに北側の海岸には漂着流木が大量に打ち上げられていて殺伐とした状況である。防災林の植栽が必要と思われる。

牛舎では約60頭の母牛が飼育されているが、草地には野生化した山羊が散見され、山羊の食害等で飼育頭数に見合う採草ができるか心配される状況にある。今後、村としての総合的な調査と振興計画の策定が望まれる。

レポート：豊見山 正 議員





もとむら けんじ
本村 健次 議員

問

ピンダアース大会
屋根付き土俵に

答

計画はない

■力が発揮できる環境作りを

先日、5月18日に第18回のピンダアース大会が行われた。回を重ねるごとに盛り上がりを見せているピンダアースだが、気温が高く、繋留してあるヤギも呼吸が乱れるほど暑かった。そういう中で、戦わせるというのはヤギにとって非常に酷である。



戦う気力がないピンダ

意見
毎回、観光客から、何かやる気のないヤギが多いという声も聞こえている。原因が何かはつきりしていないが、炎天下よりは陰の方がよい。ヤギの迫力ある戦いを期待して集まるので、早目の取り組みを要望したい。

村長
ピンダアース会場の、屋根付き土俵の計画は、現状入っていません。

そこで、雨の日も暑い日も、天気に左右されない、屋根付きの土俵にできないか。ヤギが持っている力が発揮できるような環境をつくって戦わせることで、一戦一戦迫力ある戦いができる。観光客も「ああ、ピンダアースは最高だ、また次も」と増えていく。村長の計画は。

■スポーツ大会所属は宮古郡代表

これまで多良間は、県民体育大会や一周駅伝大会等のスポーツ大会に参加する際は、宮古郡として出場していた。合併後からは、宮古島市チームとして出場している。多良間からも多くの選手が派遣されている中で、宮古島市という表現でいいのか。私としては、宮古島市代表ではなく、宮古の代表として取り扱うべきだと思う。

そこで、今、宮古体協に誰がその思いを伝えるべきかと考えたときに、やはり多良間の代表である村長から申し入れるべきかと思う。村長の見解を。



宮古島市代表として出場する選手

村長

宮古郡というのは多良間村しかありません。宮古郡代表としてやってくれという事は、宮古島市に対して失礼だと思えますので、その旨は言えないと思います。

官公庁あたりや公共等では、宮古全体の場合、宮古島市何々という形では使われています。多良間村を代表して出る皆さんがどう感じるのか意見を聞きながらだが、即、そうしてくれと、現状では言えないと思います。

意見

本島一周駅伝の場合も、八重山は八重山郡で出ている。宮古は宮古島市で出ている。多良間も宮古も一つ。だが、なぜ宮古島市に属しない、多良間村も入っているのか。宮古の方もそうおっしゃっている。やがて大会もあり機会も増える。村長からも、多良間村は宮古島市代表ではなく宮古代表ということで、出場できるよう取り組みを。



とぐち なおかず
渡口 直和 議員

問

**放置船の
撤去及び処理を**

答

港から移動撤去する

■ **港湾用地にある放置船の対応を**

高穴漁港や前泊港、普天間港にある遊漁船や漁船の現状調査を行うと、繫留してある船や陸揚げされている船が約70隻ある。

その内、現在使用されていると思われるのが約20隻、残る50隻は長期間にわたり、使用されていないような状況だ。この廃棄物同然に放置された船が、前泊港や普天間港に約10隻確認できる。特に普天間港に放置されている5隻ほどの漁船は、10年以上放置され、港の景観は大きく損なわれ、用地利用にも支障を来している。

昨年、新製糖工場の建設の際には、機材置き場用の用地確保が難しい中、放置船のあるわずかなスペースを資材等の置き場や加工場として

利用していた。このような観点から

も、放置船の早期の撤去、あるいは一時保管場所を選定して移動する等の処置が必要だと感じる。

放置船の最終処分はあくまでも所有者の責任であるのが原則。しかし、既に亡くなった方や、所有者が特定できない物件に関しては、行政の責任で処理すべきだと考えるが。

土木建設課長

放置船が港の美観を損ねているので、撤去が必要だと思います。

船は、基本的には個人の財産です。個人で移動したり処分したり処理したりというのが基本です。ですが、多良間島にも宮古島にも、処分場がありません。処分するには沖縄本島まで運ぶ必要があります。

今後の対応は、まず、港から移動

することを所有者に確認し、相談をしてから撤去する流れになるかと思えます。処分には、費用がかかりますので、個人での対応が少し難しいと思います。そこで、所有者、漁業組合、そして水産担当者と協力をし、交付金補助事業が活用できないか、県のほうとも協議をしていきたいと思えます。

■ **船舶処分助成制度は**

廃車の最終処理に関しては、海上輸送費が補助金を交付されますが、船舶処分に関する助成等の制度はあるのか。

土木建設課長

その件に関しても、村は予算措置しておりませんが、そういう予算がないか、県と調整してみたいと思います。





とみはら やすのり
富原 安則 議員

■指定管理制度の導入

この事業は、平成29年当初予算にて、水納島船舶航路建造事業⁸、316万円計上されている。

その予算審議では、総務課長が「指定管理制度を導入して、運航を進めていく」と説明していた。指定管理は、議会の審議を図り承認を得て、契約を交わしていくこれは当然だ。今後、この船が多良間村の経済観光振興に大きく活躍することを信じ、大きな期待をし、予算案に同意している。しかし突然、裸用船契約書が提示され、議会軽視も甚だしい。議会、住民の声を無視し、否定しか言いようがない。契約書の内容も意味不明、どこから探して作成されたのか。5月20日に、裸用船契約調査特別委員会を開き、指摘事項を申

問
水納島航路
裸用船契約は

答
有限会社南島牧場へ
貸し付け

し出た。だが、どう修正したのか、どうなっているのか未だに回答されていない。本場に我々議会軽視で、今まで、色んな事業を進めている。そのようなやり方を継続していく、村長は、当然ですが、今後、信任をしていくことができない。なぜ、我々議会の目を逃れるようなやり方をしたのか、総務課長に伺う。

総務財政課長

現在、多良間島と水納島間の交通手段は船舶のみで、多良間島との往来、生活物資のほか、産業である牛の運搬、郵便物の受け取り、緊急時の搬送、観光客の送迎等、唯一の交通手段であります。村所有の船舶を建造し指定管理を進める予定でしたが、指定管理ではなじまない事ばかり、普通財産の貸し付けで行う事

になりました。

水納島で唯一有限会社であります、有限会社南島牧場へ貸し付け裸用船契約で締結を進めています。

■多良間海運フェリーたらま ゆう新造船計画は

多良間村の初代フェリーたらま324トンが昭和58年に建造された。当時、伊是名村議員団7名がフェリーたらまを視察に来島され、早速、453トンのフェリーを建造された。さらに、平成27年9月には、3隻目の船971トンも建造されている。伊平屋村も負けず劣らず、今756トンのフェリーいへやが運航している。類似村海運が飛躍する中、多良間海運はなぜ最初にフェリーを建造しながら、他の町村に本当に劣っているのか。

近年、多良間村行政は問題が多過ぎる。新製糖工場の問題、水納島裸用船問題、多良間海運等々。このままだと多良間村は停滞どころじゃない、衰退です。なぜ、500トン未満しかできないのか。

村長

現状、私たち多良間村の貨物の量

からして、今の大きさでもまだまだ余裕がある。じゃ、500トン以上にした場合、果たしてその貨物の量をこなしていける将来性というのがあるかどうか。そういう諸々のことを含め、ほとんどの検討委員会の方が499トンでいいのではないかと、というご意見の中で、今そういう方向に進めています。

質問

フェリーたらまゆう船内に、所有権の公示の張り紙がある。その所有権が、株式会社沖縄海邦銀行宮古支店となっている法的根拠は、村長に伺う。

村長

ただいまの海邦銀行所有という形があるということですが、その内容を見てみないとわかりません。



フェリーたらまゆう



とみやま ただし
豊見山 正 議員

問

**新製糖工場の
使用料算出根拠は**

答

**一括交付金や
補助金等に分けて算出**

が縛りですという話であったが。

■製糖工場の使用料の算定

製糖工場の使用料算出の根拠について説明を。

産業経済課長

県の一括交付金、村一括交付金、補助対象経費に分けて算出。年間の使用料として、工場が村へ支払う額は、年間約2,260万になる。

■水納島航路船の管理運営

県の一括交付金担当に電話で確認をした中では、村からの申請内容も知っていますが、「必ずしも水納島の住民に貸し与えるという必要はない、そういう縛りもない」という話であった。しかし、この船をよそに売ったりはできない。ただそれだけ

村長

豊見山議員の発言に間違いといいますが偽りといえますか、それがありませんので、お答えします。

縛りはあるんですか、ないんですかという質問に対して、県はこう答えています。豊見山議員から電話がありましたのでこのように答えました。県は「一括交付金は、市町村から申請のあった内容を、審査して交付している。その範囲内での縛りはある」と回答しています。そして、造船した船をどのように運用するかは、村の判断になると県は回答しています。縛りはないという云々は回答しておりません。これは偽りだと思いません。

質問

村長からうそつき呼ばわりされたかもしれないけども、そういうことはない。私には確かにそういう話であった。貸し付け期間が、この契約書にはないが、これはどういうことか。

総務財政課長

船が使用不能となるまでを、期間ということ設定と捉えております。

質問

貸し付ける期間を聞いている。それが載っていない。

総務財政課長

ご指摘のとおり、水納島に貸し付ける期間のほうはこの契約書の中では設定されておりません。船が使用できなくなるまで多良間村の財産として管理しながら水納島の皆さんに運用してもらうということでの期間と認識しております。

意見

村長の施政方針にもあるように、自助、共助、公助、これが大事だという話である。

牛の高値販売ができてい

議会豆知識 

公有財産

行政財産 村において公用又は公共用に供す財産。(庁舎や消防施設、公園等)

普通財産 行政財産以外の公有財産。経済的価値を保全発揮することによって、間接的に村の行政に貢献させるため、管理処分されるべき性質のものとされている。

25年前でさえも2,500万の金を出して買うことができた。自分の仕事のためですから、それは当たり前のこと。ですから、自助で、自分の金で船は建造して、自分の仕事、経済活動に生かす、これが建前であると思う。村民も同じようなことを考えていると思う。まさに不平等、不公平感がある。

私は今回の裸用船の問題、そして、10年後はただで使わせますよ、そんなことはあっていいの。村が全体的な活性化が図れるような運用をする。それが当たり前ではないのか。



ふくみね つねお 議員
福嶺 常夫

問

新造船建造費と補助率、
村負担は

答

約19億で8割補助、
負担額は入札次第

■新造船の総事業費等は

新造船フェリーの総事業費（建造費）はいくらか。国、又は県の補助率と村の負担割合は。

村長

当初の見積もり約19億。トン当たり幾らという形で、補助額が決まっております。8割が補助です。最終的な村負担額については、入札実行してからになります。

■起債の利用を

施政方針で財政調整基金を活用するところがあるが、起債が可能な部分は起債を利用し、足りない部分を調整基金で補うような考えが必要だと思つて。一括交付金で購入をし、海運に

問

新造船建造費と補助率、
村負担は

答

約19億で8割補助、
負担額は入札次第

リースをする方針で進めるのか。また、いつから運航開始するのか。

村長

例えば過疎債を利用しますと、8割は国からの助成で賄われます。その2割を多良間海運から使用料として徴収することになります。財政調整基金を利用した場合は、100%、しかもある程度の利息をつけて多良間海運から利用料として支払ってもらおう。これは航路補助で賄ってもらいます。そういうことから、村として起債を増やすよりも、財政調整基金を使って利用したほうが、より有効な基金の使い方ではないのかという判断をしました。運航開始は令和3年度を目処に準備を進めております。

■貸付式集合畜舎とは

施政方針で沖繩離島型畜産活性化対策事業の貸付式集合畜舎の整備事業というのが新たに出ると述べているが、この畜舎建設の内容を。施設の場所はどこになるのか。

村長

多良間村が、離島型の畜舎建設を県に要望して、ようやく承諾いただき、宮古島市、多良間村でできるところになっていきます。今年度で実施設計を行いながら、来年度の事業化に向けて進める計画です。多良間では50頭規模を予定しています。

畜舎の貸し付けは、新規参入される方、畜舎の少ない小規模農家が優先となります。施設は字有地をお願いしながら進めています。

■伝統行事の内容を冊子に

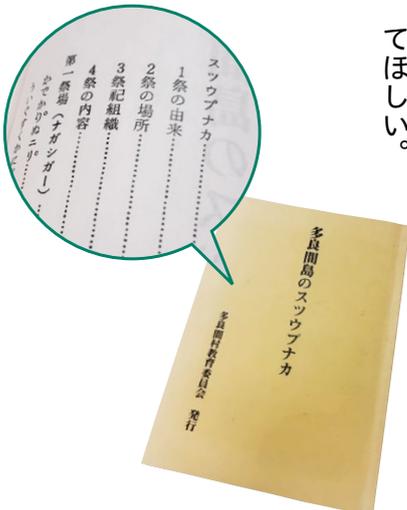
無形民俗文化財のスツウプナカ、豊年祭の事業内容と、4祭場の二り編集して冊子が発行できないか。

教育長

「多良間島のスツウプナカ」という表題で昭和60年の3月に冊子が発行され、現在は在庫がございません。スツウプナカの二りも、この時期にしか歌えないという慣習もございます。中身、内容等再チェックをし、再発行できるかどうか検討をしたいと思います。

意見

スツウプナカは二りという古謡でもってこの行事が進行されている。最近はいい伝え、口伝えできる方がいらつしやらず途絶えている状況だ。伝統文化を確実に正しく保護、継承するためには、伝統行事の運営、内容を認識することが一番重要なことだと思う。一括交付金の中で文化財という項目が準備されておりますので、優先度を1ランク上げて製作してほしい。



議 会 ト ピ ッ ク

2019年6月定例会
管内視察報告



1 地域振興拠点施設 (食事・お土産品)

5月に建設工事が終わり、引き渡しがありましたので、内装工事を視察してきました。2020年度のオープンに向けて、今後、太陽光発電と蓄電池、外構工事が行われます。

屋上は、海拔約22mあり



レストランは、2階にあり、計画では食事席30席。期待が高まります。



1階には、気軽に利用できる休憩コーナーがあります。



2階に多目的室があり、一時避難所や会議など使用可能。和室もあります。

その他情報

- エレベーター：4名乗り
- 1階2階に男女別トイレあり
- 多目的トイレは1階のみ

2 農免農道 (川原～タナ上)

農道の管理について視察

木の枝が農道まで伸びている状態が、何か所かみられました。



Before



視察後、一部の基幹農道がきれいになっていました。

After



3 港湾放置船確認 (前泊・普天間)

渡口直和議員の一般質問で取り上げる問題を事前に確認 (詳しくは4Pをご覧ください。)

裸用船契約調査特別委員会を設置

裸用船契約に対する調査及び対策を行うために、4月臨時会で、「裸用船契約調査特別委員会設置に関する決議」を提出し可決されました。現在、調査を行っております。



審議結果を多良間村公式HPで確認できるようにしました。

編集後記

去る6月14日、環境にやさしいサトウキビづくりが評価され、県農林水産部より農家203人が再認定された。

村では2007年、水質検査により硝酸性窒素などが国の基準を超えていることが判明し、11年から環境に配慮した農業への転換に努めてきた。化学肥料と農薬使用の3割減により、地下水の水質は改善され、キビの反収、質とも以前と変わることなく、環境に優しいサトウキビづくりが実現できている。

飲料水を地下水に頼る村にとって、儲けるだけではなく環境に配慮した農業に取り組み、いつまでも安全で安心して住める多良間村でありたい。



議会広報委員
本村 健次